

～環境経営を通じて《地域社会に生かされ生きる企業》を目指します～



未来のために、いま選ぼう。



環境活動レポート



著作権: Freepik

目次

1. 会社概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営活動 推進体制組織図	3
4. 全社中長期目標及び環境経営活動計画	4・5
5. 今年度の環境経営目標と活動計画・実績	6
6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	7

1. 会社概要

- 事業所名及び代表者名
穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役社長 三村和馬
- 所在地
本社：香川県高松市古新町9-1 リーガホテルゼスト高松内
- 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先
 - ・環境管理責任者 | 須崎隆二（執行役員 経営企画部長）
電話：087-825-0556
 - ・事務局連絡先 | 藤川（人事総務課長）
電話：087-825-0556
- 事業の規模（全社）
総従業員数 684人（2023年3月末現在）
全社売上高 4,769百万円（2021年7月～2022年6月）
- 環境経営レポートの対象範囲について
当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の5つの部門で構成されており、公民連携(PPP)事業部を除く、全施設を対象範囲としています。

No.	事業部名	施設名	業務内容
1	サービスエリア& リゾート事業部	・アルファ津田カントリークラブ ・クアパーク津田 ・クアタラソさぬき津田 ・津田の松原サービスエリア ・上板サービスエリア ・道の駅「滝宮」/綾川うどん会館	スポーツ健康増進施設、サービスエリアのほか、ゴルフ場を運営する。
2	ホテル旅館事業部	・高松国際ホテル ・ロイヤルパークホテル高松 ・リーガホテルゼスト高松 ・琴平パークホテル ・ロイヤルパークホテル倉敷 ・旅館くらしき・倉敷珈琲館	ホテル、料飲施設を運営する。
4	デジタルソリューション 事業部	・デジタルソリューション事業部	宿泊業界の市場分析・検証をし、集客等の課題解決をおこなう。
5	経営企画部	・経営企画部	人事や会社の資産等を管理し、各課の運営をサポートする。
6	公民連携(PPP)事業部	・サンメッセ香川・香川県県民ホール ・三豊市文化会館(マリンウェーブ) ・香川県総合運動公園・観音寺市民会館 ・美馬市地域交流センター ミライズ ・三豊市粟島海洋記念公園 ・高松市仏生山センター ・善通寺市総合会館	※ISO14001 自己適合宣言※ 指定管理者制度に基づき、地方自治体等より委託された公共施設の管理・運営を行う。

2. 環境経営方針

【 環 境 経 営 方 針 】

基本方針

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

行動指針

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。
お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。
2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。
(1) 3R を推進し、廃棄物の削減をします。
※3R (Reduce:発生抑制・Reuse:再使用・Recycle:再資源化)
(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。
3. SDGsの理念を尊重し、事業活動と社会貢献活動を通じて、その目標達成に貢献します。
4. 法令を遵守します。
環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。
5. 啓発活動の推進
全スタッフへ環境についての教育を行い、社員の環境意識の向上を図ります。

制定日 2011年3月 1日

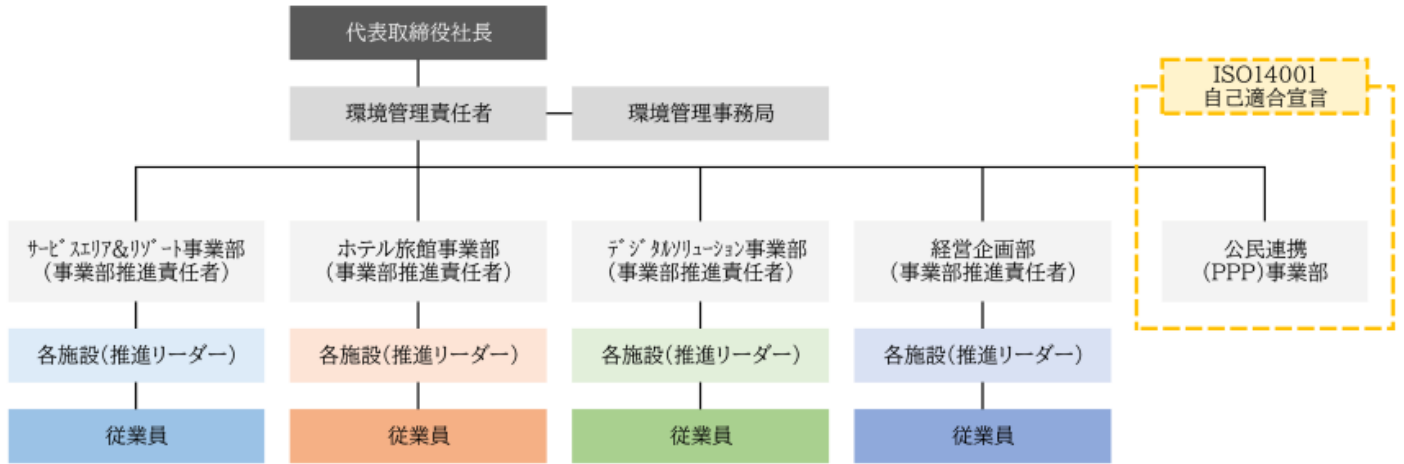
改定日 2022年9月27日

穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役社長

三村和馬

3. 環境経営活動 推進体制組織図

1) 体制図



2) 役割責任及び権限

役職	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営方針の制定、誓約及び全従業員への周知 ② 環境管理責任者の任命 ③ 環境経営システム全体の評価と見直しの実施 ④ 環境経営資源の確保
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種環境関連文書の記録及び管理 ② 事業部推進責任者の任命 ③ 全社の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況の評価 ④ 代表者による全体の評価と見直しに必要な資料をまとめ社長へ報告 ⑤ 全社共通の環境関連の教育・訓練の実施 ⑥ 環境活動レポートの作成、公表
	環境管理事務局 環境管理責任者の補助業務
事業部推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> ① 各施設の推進リーダーの任命 ② 各施設の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況・達成状況の確認及び評価 ③ 各施設の環境に関する是正・予防処置の実施状況の確認と評価 ④ 上記の各項目について環境管理責任者へ報告 ⑤ 事業部共通の環境関連の教育・訓練の実施
各施設推進リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ① 自施設の活動に応じた環境目標及び環境活動実施計画の策定・運用 ② 自施設の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況・達成状況の把握及び確認・評価 ③ 自施設の環境に関する是正・予防処置の実施 ④ 上記の各項目について事業部推進責任者へ報告 ⑤ 自施設の各種環境関連文書の記録及び保管管理 ⑥ 従業員への環境関連の教育・訓練の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の自覚 ② 環境活動実施計画に基づく自主的、積極的な活動参加 ③ 環境コミュニケーションの実施、報告（お客様の声） ④ 環境記録の作成・管理

4. 全社中長期目標及び環境経営活動計画




■ 全社中 期目標

2022年度を基準年度とした、3カ年計画を下表の通り設定いたしました

	環境目標項目	単位	基準年度	目標値(原単位)			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
1	省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /人	実績	基準年度比 2.0%減	基準年度比 4.0%減	基準年度比 6.0%減
				2.700	2.646	2.592	2.538
2	分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般)	廃棄物排出量	g/人	実績	基準年度比 1.0%減	基準年度比 2.0%減	基準年度比 3.0%減
				51.22	50.71	50.20	49.68
		発生量		81.17	80.35	79.54	78.73
		リサイクル量		29.95	29.65	29.35	29.05
		リサイクル率	%	37.0%	36.6%	36.3%	35.9%
3	食品リサイクル率の向上	発生量	g/人	27.7	27.5	27.2	26.9
		リサイクル量		24.5	24.3	24.0	23.8
		リサイクル率	%	88.3%	87.4%	86.5%	85.7%
4	節水による総排水量削減	排水量	L/人	67.4	66.7	66.1	65.4
5	上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ● eco検定の受験推奨による全スタッフへの啓発 ● お客様の掲示物による活動へのご理解、ご協力への呼掛け促進 					

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.529kg-CO₂/kWh（四国電力2016年実績）

■ 環境目標項目達成に向けての eco 活動計画 ■

SDGsターゲット	環境目標項目	eco活動取組内容
   	1 省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減※ 電気使用量/ガス使用量の削減	① 空調温度の適正管理 (COOLCHOICEの実施) ② 不要照明の適正管理 (ON/OFF管理と確認徹底) ③ グリーン購入対象機器等の更新促進
   	2 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般)	① 缶・ビン・ペットボトルの分別/リサイクルの推進 ② 紙ごみの分別/リサイクルの推進 ③ ミスコピーの廃絶 (印刷前の倍率・サイズ等の再確認)
   	3 食品リサイクル率の向上	① 食品材料の有効利用による発生抑制 ② 食品廃棄物の分別徹底/再生利用 ③ 食品廃棄物の水切り/乾燥による減量
 	4 節水による総排水量削減	① 適正水量調整による使用水量削減 (節水コマ等の活用) ② 水使用場所での節水の呼掛け徹底
  	5 eco検定合格(受験)による環境意識の向上	① 全スタッフのeco意識向上の為の計画的な受験奨励 ② エコピープルの増加と環境問題への意識向上
   	6 全スタッフ/お客様への環境配慮啓発活動	① 全スタッフへの周知徹底 (ミーティング/掲示等の有効利用) ② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上 ③ 3010運動の推進 ④ グリーン購入の推奨

5. 今年度の環境目標及び活動計画・実績

■ 活動実績と評価 ■

穴吹エンタープライズ(株)：全社集計

環境目標項目	実績評価 (原単位：利用者人数1人当り)			昨年度との実績比較					
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	2021年度 実績	2022年度 実績	対前年度 比	
				利用者人数	人	1,641,680	2,004,183	122.1%	
①省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	3.130	2.700	▲ 0.430 clear!	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	5,243,369	5,412,059	103.2%	
				使用実績内訳 (kg-CO ₂) /利用者数	電気	kWh	6,890,319	7,536,721	109.4%
					都市ガス	m ³	399,303	450,901	112.9%
					プロパンガス	kg	199,797	146,773	73.5%
					ガソリン	ℓ	17,946	17,489	97.5%
					A重油	ℓ	14,250	18,250	128.1%
					灯油	ℓ	708	400	56.5%
					軽油	ℓ	478	1,159	242.5%
②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般事業系)	54.82	51.22	▲ 3.60	廃棄物排出量 (a) - (b)	t	93.172	102.651	110.2%	
				廃棄物量内訳 リサイクル率 (b) ÷ (a)	廃棄物発生量 (a)	t	139,035	162,670	117.0%
					リサイクル量 (b)	t	45,862	60,019	130.9%
					リサイクル率 (b) ÷ (a)	%	32.99	36.90	111.9%
③食品リサイクル率の向上	93.5%	88.3%	94.4%	食品廃棄物発生量 (c)	t	43,945	55,107	125.4%	
				食品リサイクル量 (d)	t	40,648	48,658	119.7%	
				リサイクル率 (d) ÷ (c)	%	92.50	88.30	95.5%	
④節水による総排水量削減	90.7	67.5	▲ 23.2 clear!	総排水量	m ³	153,095	135,200	88.3%	
⑤スタッフ・お客様への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ECO検定の受験推奨 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 								
※CO ₂ 排出係数について、全施設での係数を0.529kg-CO ₂ /kWhとします。(四国電力2016年実績)									

■ 総合評価 ■

2022年度は、項目①と④について、目標達成することができました。しかし、昨年度より利用者人数が増加したことで、一人当たりの算出が目標を下回っているため、実際には前年度とあまり変化はなかったと考えています。2023年度は、コロナ禍前の目標を目指し、今一度、削減へ取り組んでまいります。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に係る環境関連法規制等の遵守には、日頃から注意を払っております。
下記に今年度の遵守状況の概要をご報告いたします。

(1) 適用となる主な環境関連法規

環境関連法規制等	対応状況
食品リサイクル法	92.5%達成。 昨年6月に定期報告済み。適正に管理・記録しています。 (食品リサイクル基準実施率:44%)
廃棄物処理法	3R活動の推進により、廃棄物排出量の抑制に努めており、 産業廃棄物の排出においても適正に管理しています。
自動車リサイクル法	管理本部にて社用車入替え、適正に対応しています。
家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
小型家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
下水道法	排水グリストラップの日常清掃等により、 より環境負荷の少ない排水を放流しています。
省エネ法	常日頃、節電に努めると共に、省エネ機器への更新等実施しています。 定期の届出も適正に実施しています。
容器包装リサイクル法	お客さまのご協力を得ながら、容器包装の発生抑制に努めています。 また、定期の使用量報告、費用負担も適正に実施しています。
大気汚染防止法	対象機器保有施設において、煤塵発生量測定等適正に実施しています。
フロン排出抑制法	各施設において適正に機器点検を実施し、管理・記録しています。
その他の法規制等	各施設において適正に管理・記録しています。

(2) 遵守状況評価結果ならびに違反、訴訟等の有無

① 遵守状況評価結果について

環境関連法規等の取りまとめ表および遵守状況チェック表にて、
どの施設も問題がないことを確認しました。

② 違反、訴訟等について

各施設において、適正に管理されており、関連機関からの違反等の指摘・環境関連の
訴訟も過去5年間、ありません。



2022年度の環境経営レポートは、以上です。
あなぶきエンタープライズは、今後とも全社を挙げて環境に配慮した活動に取り組み、
継続的に改善してまいります。

そして、この活動を自社のみにとどめるのではなく、広くお客様や地域社会の皆様の
ご理解・ご協力を得て『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させて頂けるように努めます。

地球環境の悪化がこれ以上進まないように、
次の世代へより良い地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。



環境経営レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL よりご覧ください。
<http://www.anabuki-enter.jp/>

発行日：2023年7月1日